



国富町立木脇中学校だより

令和7年5月

文責：校長 小侍 祐一



〈木脇中学校の生徒に身に付けてほしい力〉

木脇中学校は、明るく素朴で、真面目に学校生活を送っている生徒が多いです。頼まれたことを責任をもってやり遂げようとしたり、感謝の気持ちを素直に伝えることができたり、素晴らしいところがたくさんあります。

反面、「今すべきことを後回しにしてしまう場面が見られること」や「現状に満足してさらに自分を成長させようとする意欲を感じる機会が少ないとこと」など、もっと成長してほしいところもあります。

そこで、『木脇中学校の生徒に身に付けてほしい力』を3つにまとめてみました。

見通す力

自分自身や周りの状況から判断し、よりよい未来をつくるために、考えて行動する力

踏む出す力

高みを目指して、自分の殻を破りチャレンジする力

磨く力

本物に触れる経験を通して感性を磨くとともに、多様な考えを認め合い高め合う力

これから、学校生活の様々な場面で、この「3つの力」を身に付けるように意識していきましょう。

【生徒たちのニュース】

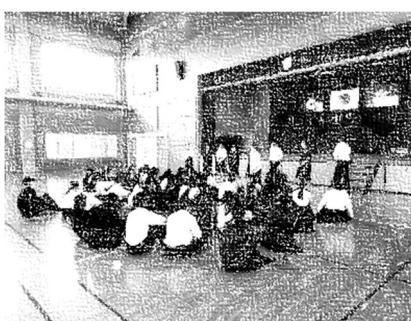
5/1(水)

あいさつ運動



4/30(水)

結団式



5/13(火)

竹ぼうき寄贈



生徒会が中心となって、毎週水曜日に正門前であいさつ運動を行っています。

毎回、たくさんの生徒が参加してくれており、小学生や地域の方々に、さわやかなあいさつを届けています。

体育大会の結団式が行われました。団の色を決めた後、団長・副団長、リーダーを中心に盛り上がりっていました。全員で団結し、すばらしい体育大会を作り上げていきましょう。

国富町田尻地区在住の吉富克芳様から竹ぼうき30本を寄贈していただきました。毎年いただいている竹ぼうきはとても使いやすく、生徒にも好評です。大切に使わせていただきます。